

2024年度 第5回 運営推進会議 議事録

- 1 日 時 令和7年1月27日(月) 15:00～16:00
- 2 場 所 地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷 地域交流スペース
- 3 出席者(敬称略)
利用者: ○田○平
利用者家族: ○田○○子
地域代表: ○戸○夫(民生委員)
地域包括支援センター: ○幡○志
市職員: ○川○夏(介護福祉部)
事業所: 宮武昭彦(施設長) 藤原麗子(介護支援専門員)
欠席者: ○田○高(自治会長) ○本○一(特別養護老人ホームうおずみ施設長)
貝原 直子(介護職員)
- 4 会次第内容
 - (1) 開会の挨拶、施設長挨拶
2024年度の第5回の運営推進会議を始めさせていただきます。
お忙しい中、お時間頂きまして有難うございます。
次第に沿って、進めさせていただくことになりますが、まず皆さんの自己紹介から始めさせていただきます。
 - (2) 出席者の自己紹介
出席者より自己紹介いただき会次第に入る。
 - (3) 「はぎの郷」の現状報告(介護支援専門員)
現状報告(令和6年12月31日現在)を用いながら入居者の状況及び事業所が取り組んでいるサービス内容を報告する。
- 5 質疑応答・意見交換
(施設長): 本日参加していただいている利用者○田様は、入居されてから何か困ったことや、こうして欲しいという事は何かありますか?
ご意見:(利用者家族)
私の所は、身体が不自由ですのでお世話になりっぱなしで申し訳ないと思っています。変わった病気を持っていますので手が震えたり、足は動かしにくかったり色々ご迷惑をおかけしています。
(施設長): 要望などは無いですか?
ご意見:(利用者家族)

要望とかは、これだけして貰ったら充分だね。その都度相談してますので有難いです。

(施設長)：そうですか。では引き続きどんどん相談していただけたらと思います。要望有ればぜひ仰って下さい。

では、他にヒヤリハット、事故の内容でご質問等ありましたら。アドバイスなどありましたら、よろしくお願いします。

ご意見：(民生委員)

1年程前から、家族会を作られる。準備中だと言われていたと思うのですが、家族会をやられない何か問題があるのか、それとも結構手間がかかる話なのか、どんな感じなのですか？

(施設長)：家族会の発起人になる方が1名手を挙げて下さった方がいまして、話が進んでいたのですが、発起人の方が家族様たちに集まりませんかと案内まで出してくれたのですが、人が集まらなかったのが現状で、その間に発起人のご家族様がお亡くなりになりまして、話が止まってしまっている状況でコロナウィルスの為、施設を一時立ち入り禁止にしたり、解放したいと思ったらまた立ち入り禁止したりして、まだ2回目がなかなか出来ていないのが現状となっています。

ご意見：(民生委員)

家族会の目的というのは、情報の交換であったりだとかだと思うのですがかなり意義のある事だと思いますので、出来るだけ早く・・・

(施設長)：分かりました。有難うございます。

他に何かありますか？

ご意見：(民生委員)

ヒヤリハットの8ページの2階のI様ですね。スプーンを口に入れている時に前のめりになって喉にスプーンが当たる前にとっさにスプーンをどけたと。対策と言うのはスプーンを柔らかい物にするとか。これは事故に繋がりそうな、怪我に繋がるような危険な、なかなか難しい話で、この方特有の事なのか結構頻繁に起こるようなことなののでしょうか？

(介護支援専門員)：

そうですね。この方自身がそれまではご自身のペースで、ゆっくり時間を掛けて食べる方であったのですが、この頃から状態が落ちて来られまして。100歳を超える方なのですが、介助をされるのを嫌がられる方でして、それでも食べないわけにはいけないので、ゆっくり時間を掛けて介助していたのですが、最初は口を開けて下さるのですが、ある程度になると顔を背けてしまわれる感じで、その時のヒヤリです。柔らかいものにしてはどうか等、先ほどご提案もいただきましたが、急な動きなので避けようが無いかなと。嫌だという仕草をさ

れたら、それで食事は終了という形でさせて頂いていました。

嫌な事は嫌とはっきり意思表示される方でしたので、その仕草をされたら終了で食べれる所までは食べていただこうと介助していました。

ご意見：(地域包括支援センター)

これは、早く食べようとして、迎えにいったという訳では無いんですね？

介助しようとした時に顔を前にやって食べようとした訳じゃ・・・

(介護支援専門員)：

早く頂戴！という訳ではないです。

ご意見：(地域包括支援センター)

なるほど、そっちの方で捉えていたので。逸らすほうですね。

ご意見：(民生委員)

あともう1件。10ページの2階のP様、尿のバルーンを入れられている方ですが、こういった方は何名かいらっしゃるんですか？バルーンを入れられている方は。

(介護支援専門員)：

そうですね。現在バルーン入っておられる方が3名様いらっしゃいます。

このヒヤリのP様は移動する時に、ちゃんとバルーンを引っ掛けない様に移動させてたりして気を付けておられていたのですが、認知症状が進んで来られまして、バルンパックを無視して急に立ち上がって移動しようとされる事が増えてきたので、ヒヤリとして挙がってきております。

ご意見：(民生委員)

話を聞いていくと、こういう施設で入所されている半分くらいはバルンを利用していると何かの本で読んだ事が有って、多いんですね。

装着は看護師の方がされているんですか？

(介護支援専門員)：

そうですね。基本は泌尿器科に受診して交換して貰って、体調不良などで泌尿器科の受診が難しい方は、臨時で施設の看護職員が入れさせていただくようになっています。

(施設長)：地域包括センターの方はどうですか？

ご意見：(地域包括支援センター)

季節行事、ボランティアの所で、地域交流というのが2ページの⑤で保育園さんとの行き来があったのだらうなと思うのですが、5ページの行事等の地域交流が無しになっているのですが間違いですか？

(介護支援専門員)：

間違いです。有りで訂正お願いします。

ご意見：(地域包括支援センター)

保育園への行事にも参加しに行ったという事であれば、その上の地域行事への参加もありで良いのかなと。せっかくされている所がもったいないかなと思っていたので。

(施設長)：そうですね。有難うございます。

ご意見：(地域包括支援センター)

ヒヤリハットの分でも確認しておきたいのですが、7 ページの上から2つ目 B 様のヒヤリハットと11 ページの事故報告書の11月2日の分が同じ方なのかなと。ヒヤリで自分で歩かれる方なのかなと思っていましたが事故報告では車椅子に座ってとなっているので移動手段がシルバーカーで歩いたり車椅子など、場面場面で切り替えている人なのか。同じ人なのかどうかと思ったので。

(介護支援専門員)：

すみません。アルファベットが間違えています。事故報告の方は車椅子での移動の方で7 ページの方に関しては、1 階の L 様になります。すみません、以後気を付けます。

ご意見：(地域包括支援センター)

あと、10 ページの下から3 段目の J 様の分ですが、この方は車椅子で動く時に後ろに下がるのが特徴の方なんだと思うのですが、この人のサポートで E 様の側にいる時は見守りを行い対応していく。となっていますが別の人との接触を避けないといけないのかな。E 様の側にいる時は気を付けないといけないのかどうか。

(介護支援専門員)：

そうですね。基本はどの方でもぶつからない様に気を付けないといけないのですが、前からいらっしゃる利用者様は、J 様が移動している時に前後確認せずに動かれる事を知っているので距離を置いたりして下さっているのですが、E 様は、歩行での移動が出来る方ですが右目が見えない方で、周りを見ずに自分の思うように歩かれるので、その方同士が側にいると接触する危険が高いので特に E 様が側にいる時は気を付けないという事で対応として挙がってきている状況です。

ご意見：(民生委員)

この方は結構ヒヤリハットで登場されてますね。動かれる方という事でこれだけ色々と挙がってきているのかなと。

(介護支援専門員)：

そうですね。活動的で毎日フロアーを何周も歩かれたり、職員さんが何しているのかなと覗いてみたり。見えていない所も有るのでぶつかったりと言うヒヤリであったり今までもよくヒヤリや事故で挙がってきているので、行動されて

いる時は注意が必要な方です。移動速度も速いので。

ご意見：（民生委員）

11月に3回、12月にも2回ほどヒヤリで挙がってきてますね。

（介護支援専門員）：

そうですね。頻繁にヒヤリや事故で名前が挙がってきておられます。

ご意見：（地域包括支援センター）

事故の14ページの一番下のU様ですが、居室のドアが開いたと同時に車椅子から前に転倒された。職員がドアを開けたらびっくりしてドンと落ちたと言う状況ですか？

（介護支援専門員）：

居室でおやつを召し上がられていて、食べ終わってご自身で居室から外に出ようとしてドアを開けて出ようとしたのですが、ドアの所に微妙な段差があり思いっきり前に進もうとしたので、つんのめって前のめりに落ちてしまったという状況です。介護職員も居室のドアが開いたと同時に床に落ちるのが見えたという状態だったそうです。

ご意見：（地域包括支援センター）

おやつを食べている最中に職員が覗きに行ってもではなく、食べ終わってから出てこようとされた……。分かりました。もしそうなら介護職員さんが相当焦っただろうなと思ひまして。自分が入ったがゆえにこけたとなれば。食べている最中であればのどに詰まったりとか色々考えたんだろうなと、もしそうなら自分だったらとても嫌だろうなと思ひまして。

こういうヒヤリ等は、こういった感じで挙がってくるんですか？

（施設長）：一応、ヒヤリハットに関しては、職員が月に1枚出すことを必須にしているの

でそれは自らヒヤリハットの場所を見つけて貰う訓練でもありますし

ヒヤリハットの内容を読むと、その人のレベルによってヒヤリが違うと思うのです。その人のレベルを把握する為にも出して欲しいと。あとはその人のヒヤリを集約していく事で、事故が起きる前の特徴が分かってくるので必ず出さないと駄目だよと。施設長命令だよと。ただ書く事が無くなってくるとちょっとした事でもヒヤリとして無理くり出してきているのも確かです。3年、4年という職員だと。それでもヒヤリは探せると思うので探し続けて下さいと。

内容が何回も重複したものが出来来ているのですが、事故に関しては起こってしまった時点で事故ですよという事で、服薬事故に関しては服薬介助をして残っていたとして看護に確認して、薬局に確認して、まだ薬をスキップしなくても遅れても薬が間に合って飲めていれば事故でなくヒヤリで提出。手遅れで薬をスキップして飲まさないでくださいとなると事故として区切りをつけています。転倒などに関しては起きてしまったことは全て事故ですよと。

事故に関しては起きた時点で、まず看護職員に報告してバイタルなど色々見るのですが家族様に怪我が無くてもいち早く報告する。事故報告を書けたら施設長に提出し、その事故がどういう内容なのか不適切ケアなのか、家族とトラブルを今後起こしそうな内容なのか確認して、問題無ければ改善案とか検討してもらう流れになっております。

ヒヤリハットに関しては、改善案だとか1人の意見ではなくて書いた人が必ず1人か2人の意見をいただいてその意見も追記したうえで提出する事になっています。自分1人だけで考えた改善案だと幅が狭くなってしまうので、そのような形でしか提出してはいけないと伝えています。

ご意見：（地域包括支援センター）

結構、大変ですね。

（施設長）：大変ですね。ヒヤリが皆さん大変で、ユニット会議が毎月あり、私も参加しているのですが、その時にヒヤリ担当者がいまして、全員分集めましたかと確認して集めました。OK。という形で、出さない人は取り締まっていると言うとおかしいのですが、出していただく・・・と。利用者の為にデータを集めていくんだと、また職員のレベルアップにもなるので。デメリットは先ほどもお伝えした通り、ヒヤリに慣れてくるとネタが無いと言うか、こじつけた様なヒヤリになってしまっているのでは、おや？と思うヒヤリもあるのですが。それでも出さないで慢性化してしまうよりは、月1回身近な発見をしてもらうのが大事なかなと思ひまして。

ご意見：（地域包括支援センター）

例えば、7ページ一番下の方など、無理くりに近いのかなと。一人で立とうとするのを発見してお声掛けして座って貰ってという。出し尽くして、それを聞くとなるほどねと。

（施設長）：そうなんです。ヒヤリが多い施設だねと言われるのですが、1人1枚出しますのです多いですね。

ご意見：（地域包括支援センター）

例えば二人対応の時に、ヒヤリと思った事があって、同じケアという所でレベルの差があるので、同じことをしているのに違う事が挙がってくる事があるという事ですね。

（施設長）：はい。ありえます。そうするとAさんの場合は、この時点でヒヤリなんだとかBさんはヒヤリと思っていないんだとか把握しながら、職員のレベルを常に確認していっています。

ご意見：（地域包括支援センター）

そこまでしてってくれたら、とても安心ですね。うちもしないといけないなど。

また元に戻ってしまうのですが1ページの3の(4)の緊急事態対応訓練の医療的な緊急事態と言うのは、どういう事を想定されて行われたのですか？
バルーンが急に抜けたとか？

(介護支援専門員)：

そうですね、色んな事態が起こりえるのですが夜間帯に看護師がいまないので吸引が必要になったとか、意識レベルが落ちたとか、今回は2階で起こった想定でしたが、その時に看護師への連絡であったり、救急車を呼ばないといけないとなった時に宿直の方に依頼して玄関を開けて貰う事や介護の手が足りない時は別の階の職員の手を借りる等、やってみないといざと言う時に、何をしたら良いのか分からないだろうという事で今回、どう連携していくかという内容で実施しました。

(施設長)：災害からポイントを外して緊急訓練という事で今回実施しました。

実は去年、一昨年に2件AEDを使った方が良かったのかなという事案があったのですが、年に1回、2回と講習をするのですが職員の感想は、その時は頭が真っ白で使えなかったと、使っていなかったんですね。訓練していてもなかなか使えないので、踏み込んで現場の訓練でAEDを運んで開いて貰ってという所まで行かないと、それでも経験の浅い方は頭が真っ白になってしまうみたいで。今年からはこういう医療的な対応を増やしていこうじゃないかと。救える命はしっかり救わせていただいて、早期対応で出来る事で後遺症が軽減できるものはしていこうじゃないかと訓練を増やしています。

ご意見：(地域包括支援センター)

実際に職員の反応はどうか？

(介護支援専門員)：

事前に、訓練なのである程度の流れは伝えたくて実施しているのでもうまくはいっているのですが、これがいざ何も無くて自身で判断してやれとなるとパニックになるかなと。まず一度やってみてまずここに連絡しないといけないのだなという事が分かって、いざと言う時に今までよりは冷静に動けるかなという状態かなと。でないと宿直に連絡して玄関を開けて貰わないといけないとか実際経験しないと分からなかったかなと。

ご意見：(地域包括支援センター)

私の所がね、その宿直さんにスポットを当てた訓練をしてもらったんです。いざフリーで動けるとなったら宿直さんしかいないので、宿直さんにどう動いて貰うか、職員のSOSをどうキャッチするかとか、フォローアップをさせて貰ったのを去年させて貰いました。

(施設長)：私の所もそれを参考にさせて頂きたいと思います。

ご意見：(地域包括支援センター)

わー！となったら宿直さんが救急車呼んでねと。

(施設長)：そうですね。鍵開けて、誘導してとなると宿直さんに頼るしかないのです。

特に心肺蘇生を始めると、そこを離れるなど教えてあるので、まつかぜの郷だと5ユニットあるので、まだ助けがあるのですがはぎの郷は、一人がついてしまうと、残り2名が巡回に回ったら動けるのが宿直さんしかいないのでその訓練も必要ですね。

ご意見：(地域包括支援センター)

私の所も先月、元気な方が急に意識レベルが下がるという事もあったのですが訓練していたので、バタバタはしましたがなんとかやっていて良かったと。

知らなかったら、何もできなかったなという事があったので。今のを聞くとまず全体で把握したうえで、スポットを当てながらするのも良いのかなと思います。

ご意見：(介護福祉部)

2ページ目の人事異動の所ですが、11月に2名退職されているのですが、入職者さんは辞められる前に入られて来ているのか、退職されてから入られたのかどうか。

(施設長)：そうですね。退職にともなってすぐ入ってきて頂いたという所ですね。

宿直の方は、お1人腫瘍が見つかりまして手術して入院するという事で変わりの方に1人入職して頂いたのですが、腫瘍もとられてまた現場復帰して下さっています。介護さんも辞められたので1名採用しています。なんとか、プラス1名を目指しているのですけれど、なかなかプラス1名になった瞬間、上手に抜ける体勢になっていまして、プラス1名が実現できていない状況です。

やっぱり介護職員さんを集めるのが大分難しいですね。どこの施設もそうですけど、集まって定着してくれるのも、全員では無いですし定着しない方が求人に来てくれるので、2か月3か月するとまた他に行ってしまう形で、辞めない方は他の施設でも辞めてないと思いますので非常に難しいですね。外国人の職員が増えてきているのですが、技能実習生が2名、外国人ですが福祉専門学校2年間通い、卒業した介護福祉士が2名います。

他はございますか？

ご意見：(民生委員)

ナリコマさんの出張寿司は美味しそうですね。

(施設長)：はい。ナリコマさんのおせちも立派で、オープンして6年間で食事で苦情は1回も無いんです。食事は美味しいと言われ食べられています。お値段もそれだけ掛かってはいるのですが。生ものは私たちは提供できないのですが、何を食いたいかわかり調査をすると、皆さんお寿司と言われるので、出張寿司という裏技で提供できるかなと。皆さん喜んで食べて下さいます。

ご意見：(地域包括支援センター)

この時は、職員さんも食べられるのですか？

(施設長)：はい。福利厚生で利用者様の食事が終われば、職員さんも食べてと、職員分も注文して握って貰っています。

保育園の交流もずっとコロナで止まっていたのですけれど、私たちが止めると言うより、保育園のほうが気を使って下さって、こちらの方が高齢施設なので感染してしまっただけいけないと園長さんが自粛しておられたのですが、去年のクリスマスに久々に交流しました。今までもクリスマス会、卒園式などのプレゼントなど物の行き来はしていたのですが、対面で行かせて頂いてコロナやインフルエンザなどエスカレートしなければ、敬老の日に来てくれて一緒に歌を歌ったりして下さるという事で、子供たちの交流というのは私たち職員が接していてもあまり笑わない方や認知症が進行して表情が固い方でも、子供と会うと涙を流したり、手を握ったりされ奇跡的な行動が見られたりします。利用者様にはすごく良い効果が現れるので、子供の力はすごいなと、続けていきたいと思います。

ここには載っていないのですが、去年に秋祭りを開催し、家族様に来てもらい外国人職員の全員ネパールの子達なのですが民族衣装を持っていましたので民族の踊りを披露してくれて、その時には地域の方にもビラを配らせて貰ってご自由に参加して下さいと、地域の方も数名来ていただいて、なかなか綺麗な民族衣装で異文化の踊りを見るという機会も少ないので、そういう交流もやっとな出来るようになった所です。

ご意見：(地域包括支援センター)

ネパールの方が来られた時に日本式の歓迎会とかされているんですか？

(施設長)：そうですね。まず最初淡路島の研修センターで法定研修を1か月をするのですが、何を食いたい？と聞くとお寿司と言うんですね。2回行って2回ともお寿司だったのですが、淡路に行って歓迎会でお寿司を食べてもらって、こちらに来て職員の交流会というか飲み会がありますので、歓迎会するというネパールの子とこの職員の関係は深いです。私も良いか悪いかは別として、一人の職員の女の子にネパール料理を食べてと、ネパール料理をごちそうになって代わりにこちらは日本料理を提供してとプレイベートでも異文化交流できています。その子たちはしっかり定着しています。

以前もお伝えしたのですが、私たちはネパールの孤児施設を支援してしましてその子達が18歳になっても仕事が無いので、私たちはネパールに日本語学校と介護学校を作っているんですね。私は来月ネパールに出張するんですけど、孤児の子達が無料で勉強して、希望する子は将来日本に来て働くという事で

ここにいる4名のネパール人の内一人は、孤児施設出身で、8歳くらいの頃から交流して支援してきた子なので、その子は施設でパパと呼ぶんですけど、その子が「パパ食事作ったから、今日は食べに来て」と。統括代理の事は女性の方なのでママと呼んでるのですが「パパとママ来て」と。お客さんが来ないので寂しいんでしょうね。一緒に交流して働くという。先月その子の妹が入国しまして、今度当時6歳だった子が、やっと20歳過ぎて入国して、この前淡路に行ってお寿司をご馳走して。今度妹が来るのですが、その子たちは帰る場所が無い、頼る場所もないので日本に来て私たちに頼ってくれてお仕事して、出来たお金の一部を施設に仕送りしてくれるので、そこでまた0歳の子が生きていけるんです。そういう社会システムでやっています。

ご意見：(地域包括支援センター)

利用者様のご家族にお伺いするのですが、さっきの話を聞いてネパールの子がいらっしゃるという事ですけど、特に違和感と言うか感じることはありますか？

ご意見：(利用者家族)

別に違和感を感じることもなく、同じ人間ですから。国が違えども。でも今の時代の事ですから、どこでもあるでしょう。日本全体で。別に違和感はありません。優しいですよ。挨拶してくれるし感じは良いですよ。駐車場であった時でも「こんにちは」と言ってくれて感じは良いですよ。

ご意見：(地域包括支援センター)

国際交流と言う言葉が適切なのか、今の話を聞くと人間だからと。

ご意見：(利用者家族)

言葉はたどたどしいですけど、私の名字も呼びにくそうですけど。

ご意見：(地域包括支援センター)

国内でも、北と南で言葉の差は有るので、訛りがあるのでそういう事も含めて職員として受け入れていかないと。

(施設長)：国際的な社会福祉法人として、そういう子達の行き場も作ってあげたいと思いますし、我々日本人も勉強になる所も有りますし、とにかく勉強熱心です。介護福祉士の二人もネパール人の子も、入学の保証人には私が全部なって2年間しっかり送り出して、ここで働きたいと帰ってきてくれて、帰ってこない場合もあるんですけど、途中で辞めてしまったら、その子の授業料は何百万保障しないといけなくなるんですが、出会った以上は保証人になって、示して行かないと思いは伝わらないので。この前卒業したので今度3人の保証人になっています。チャンスを与えてあげて、また帰って来てくれたらなと思います。

他はどうでしょうか？家族様は何かありますか？今までの内容を聞かれて。

聞きたい事とか。

ご意見：(利用者家族)

お世話になる事ばかりだからね。食事も満足に取れないし。今までは歩行器で歩いていたのですが、こけて骨折して骨折も3回です。足に腰にお皿にと。骨粗しょう症もあるので、その薬を使って今は医師は悪くはなっていない良くもなっていないと。まあまあですなという事で、骨が弱いんですね。それが、せっかく歩いていたのになと、人間歩けなくなったらつまらないですよ。だから車椅子が足替わりでそれだけが頼りでね。でもそれがあれば生活できるのだから有難いと思っています。気管切開していますし病気は色々持っていますけど、ちょっとでも長生きして欲しいです。去年の11月から入所しまして、やっと慣れたかなと。夫婦ともども始めは大変だと思っていたんですけども2か月ほどたって今、やっと状況が受け入れられたと言うか、家で面倒見ようかなと出来ないけど思うんですよ。可哀そうだと思ってね。今は有難いと思っています。食事にしても排泄の事にしても世話はかかりますからね。まさか、こういう状況になるとは思ってもいないですから、突然来たので受け止めるのが大変でした。でも悪くなって1,2年の間は家で一生懸命介護していたのですけれど、こちらに入れると分かってやれやれと感じたのですが始めはすごく抵抗がありました。可哀そうだと。自分も寂しいでしょ一人で暮らすことになったら、老後こんなことになるなんてと。やっぱり二人一緒に暮らしたいですよ。それが出来なくなったのですからね、元気な人がうらやましいです。でもねこうして会える時もありますからね、それを楽しみにしてね。昨日もひ孫が来て寒いのに近くの公園に行ったんですよ、孫とひ孫と。楽しかったです本当に。そういう事が出来るのは有難いです。たまにで良いんですよ。しょっちゅうそんな事は出来ませんから。たまにだから良いんですよ。

ご意見：(地域包括支援センター)

なるほど。そういう意味では、最初民生委員の方が言われていたように家族会ですね。入所された方の家族に関して少人数でも施設が仲介しながら出来たらご家族も安心されるし、本人様も安心される新しい環境になっていくので。

(施設長)：そうですね。これは課題ですね。

ご意見：(地域包括支援センター)

私の所でも毎月、介護者の集いを第3金曜に公民館でやっているのでもそこに便乗しながらでも行って貰っても良いのかなと思います。広報加古川にも載っていますので良かったら。よろしくお願いします。

(施設長)：有難うございます。

他にはないでしょうか？長い時間有難うございました。

これを持って第5回運営推進会議を終了したいと思います。皆さんお忙しい
時間有難うございました。お気をつけてお帰り下さい。

(一同)：有難うございました。

以上

次回は令和7年3月31日開催予定